

市大病院情報誌



そよ風

Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています



次世代の良医育成の取り組み  
～スチューデント・ドクター制度～について

本学医学部に入学した学生は、4年間で基本的な医学的知識と技能を習得し、5年生の臨床実習に進むために、国家ライセンスであるスチューデント・ドクター(Student Doctor:SD)の認定を受けなければなりません。そのためには、知識を問うCBT、技能と態度を問うOSCE(通称「オスキー」という二つの試験に合格する必要があります。毎年本学では、SDの認定を受けた学生に対し、一人一人に白衣が授与される「白衣授与式」が行われます。白衣の左上腕部分に付けられたエンブレムは学生が考案したもので、医学部の象徴である3女神「智・仁・勇」にまつわる本・薬壺・月桂樹があしらわれ、医学部のロゴマークとなっています。

こうして医師になるものとしての高い志と、SDとしての自覚と責任をもって附属病院等での臨床実習が始まります。医学生の実験の保証を行って、患者さんの所に実習に送り出していることをご理解いただき、より良き医師の育成にご協力いただきたく思います。

総合診療センター・総合医学教育学 鎌田 紀子



Contents

2017年3月  
第28号

- ▶ 次世代の良医育成の取り組み  
～スチューデント・ドクター制度～について
- ▶ 中央臨床検査部
- ▶ ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術(RAPN)
- ▶ 神経内科の  
遺伝疾患外来について
- ▶ 大阪府警察音楽隊による  
「クリスマスコンサート」を開催しました
- ▶ 子どもたちにクリスマスプレゼント!
- ▶ 認定看護師の活動について



診療科紹介 歯科・口腔外科

中央臨床検査部

中央臨床検査部では患者様から採取した血液や尿などの検査(検体検査という)や、心電図、脳波検査や超音波検査のように患者様自身を検査する生理検査を行っています。

昨年1月に新しい検体検査搬送システムを導入、基幹項目の装置を2重化し、検査結果の報告時間の短縮、測定装置の不具合による検査結果遅延防止に取り組んできました。

導入後は重大な検査結果の遅延が無く運用できており、検査時間も少しですが短縮(繁忙時約10%)されました。

これからも、正確で精度の良い検査結果を迅速に提供できるようスタッフ一同取り組んでまいります。(検体検査約1500件/日を実施。検査全体で年間500万件超を行っています。)



同じ検査装置(1号機と2号機)  
繁忙時の検査時間が短縮された  
万が一1台が故障しても検査は継続  
メンテナンス時の検査停止を回避

新搬送ラインの一部(免疫検査装置)

免疫検査室 松吉 宏・安部 浩二

# ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術 (RAPN)

腎細胞がんは、画像診断装置の発展に伴い早期発見されるケースがほとんどです。4 cm未満の腎細胞がんにおける標準治療は腎部分切除術です。

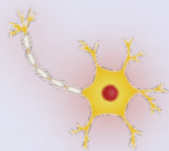
この術式では腫瘍を単に切除するだけでなく、残った腎臓の機能も十分温存できなければ手術としては成立しません。また近年は腹腔鏡を用いた低侵襲手術が早期がんの治療においては重要な位置を占めていますが、腎部分切除術の様な切除、縫合を必要とする術式は難易度が高いとされていました。そこで昨年4月に保険適用が可能となったのがロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術です。当院では保険適用が可能となる以前から自由診療でこの手術を行っていましたが、ようやく保険適応となりました。

手術支援ロボット装置 (da Vinci Surgical System) は3Dモニターでの立体視、手振れのない繊細な手術操作、モーションスケールや自由に屈曲、回転する鉗子(かんし)を用いることで極めて精度の高い手術が可能となりました。腹腔鏡では困難であった完全埋没例や6~7 cmの大きな腫瘍でも腎機能を温存しつつ安全に腫瘍を切除することが出来るようになりました。

当院での治療をお考えの方は泌尿器科外来 (担当医 山崎) までご相談ください。



手術支援ロボット装置で手術中



## 神経内科の遺伝疾患外来について

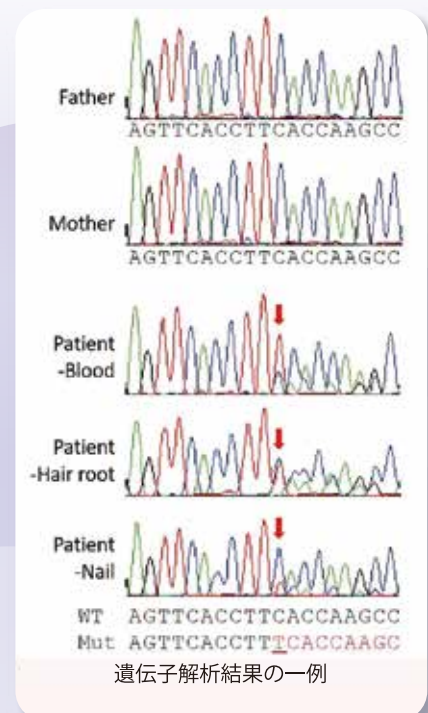


神経内科疾患では遺伝性のもも多く、確定診断のため遺伝子検査が必要となる場合があります。しかし現状では通常の検査機関で行うことのできる遺伝子検査はごくわずかで、大多数の検査は臨床研究の一環として検査を請け負っている研究機関に依頼するしかない状況です。また研究機関で取り扱っていない疾患も多数あります。

近年の遺伝子増幅法、次世代シーケンサー (Next generation sequencer ; NGS)、microarray (マイクロアレイ) による塩基配列決定技術等の著しい進歩により、今まで実現不可能とされてきた個人や受精卵の全塩基配列決定による遺伝性疾患の診断、疾患スクリーニングなどが可能となりました。海外ではこの技術の臨床導入も開始されており、未診断の症例を対象に全エクソン解析を行ったところ、25%の症例で確定診断がなされたとの報告もあります。

当外来では、慶應義塾大学との共同研究により、未診断の症例を対象に網羅的遺伝子解析を行い、診断の一助としています。

外来は木曜午後不定期に行っていますが、まず当科の通常外来をご受診ください。必要に応じ遺伝疾患外来を予約し、検査の適応につき検討させていただきます。



# 大阪府警察音楽隊による 「クリスマスコンサート」を開催しました

平成28年12月21日(水)午後4時30分から5時15分まで、大阪府警察音楽隊の皆さまによるクリスマスコンサートを開催いたしました。今年は1階初診受付待合の特設会場においてライトアップされたクリスマスツリーをバックに演奏していただきました。

大阪府警察音楽隊は、演奏を通じて各種犯罪対策などの広報活動を行い、安全で安心なまちづくりを目指して活動されています。今回は振り込め詐欺の手口について詳しくご教授いただきました。

またコンサートでは、「クリスマスフェスティバル」から始まり、「世界に一つだけの花」「ラスト・クリスマス」の演奏でクリスマスムードたっぷりになった後、連続TV小説「あさが来た」の主題歌「365日の紙飛行機」が演奏されました。



最後の「ど演歌えきすぶれす3」では、曲目毎にクラリネット、トロンボーン、トランペットなどのソロ演奏が行われ、迫力あふれるコンサートになりました。

アンコールでは、マライア・キャリーの「恋人達のクリスマス」が演奏され、クリスマスの余韻残るコンサートとなり、お集まりいただいた多くの患者さまも、たいへん満足された様子でした。

大阪府警察音楽隊の皆さま、迫力ある生演奏を本当にありがとうございました。



## 子どもたちにクリスマスプレゼント!

平成28年12月20日(火)、「一般財団法人ものづくり医療コンソーシアム」会員の企業団体の方が、小児科病棟で入院中の子どもたちにクリスマスプレゼントを贈ってくださいました。昨年度に引き続き、入院中の子どもたちに少しでも喜んでもらいたいという思いからこの取り組みをしていただいております。



たくさんのプレゼントをいただきました!



ものづくりコンソーシアムのみなさまと小児科病棟職員

贈呈に向けて事前にこちらでプレゼントをセレクトさせていただき、今回病棟までお持ちいただきました。絵本や積み木、ぬいぐるみなどの様々なおもちゃは、採血など処置中の子どもたちの気を紛らわせる効果があるようです。また、おもちゃで遊ぶことは成長にもつながるといいます。子どもたちの笑顔と未来のために素敵なプレゼントをたくさんいただきました。ものづくり医療コンソーシアムのみなさまどうもありがとうございました!



## 手術前にはお口のチェックをしましょう

歯科・口腔外科学は学内で最も新しい教室として、平成27年4月1日に設立されました。医学部附属病院においては、平成27年10月1日より病院5階の歯科・口腔外科診療室にて診療を開始しております。歯科・口腔外科のスタッフは医科と歯科が密接に連携し、患者さんに寄り添った医療を提供することを目指しています。

歯科・口腔外科は、全身麻酔手術を受ける患者さんの周術期口腔機能管理を担当しています。手術を受ける際、口の中が清潔でないと、術後に肺炎になったり、傷が化膿したりします。また、むし歯を治し、入れ歯を作ることにより、手術後早期に口から食事をとれるようになり、回復が早まります。そのためには手術前にお口のチェックを受けることが大切です。

また抗がん剤治療、造血幹細胞移植治療、放射線治療の際には、副作用として口内炎ができ、しゃべりづらい、食事をとれないなどの症状が出現します。私たちは患者さんが安心して治療を受けられるよう口のなかのトラブルに対応するべく、日々の診療に取り組んでおります。



## シリーズ 第4回

## ～認定看護師の活動について～

当院では、専門的な知識と視点を持つ認定看護師・専門看護師が協力しながら対応・活動しています。

## 今回の号では救急看護認定看護師をご紹介します

今回は当院の「救急看護認定看護師」についてご紹介します。現在3名の救急看護認定看護師が在籍しています。当院は救命救急センター・災害拠点病院に指定され、大阪市南部地域の救急・災害医療の充実に努めています。救急看護認定看護師は救命救急センターを中心に活動し、事故や災害、急病で緊急の医療が必要となった患者さまに、医師と協力しながら医療を提供するとともに、入院早期からのリハビリテーションへの取り組みや精神的サポートなど、少しでも早く日常生活を取り戻せるように

専門的な知識・技術をもとに看護を

行っています。また、当院に入院・通院される患者さまやご家族に安心して医療を受けていただけるよう、突然の病状の変化をいち早くとらえて対応できる職員の育成を目指し看護師や他職種を対象に講習会やシミュレーション教育を行っています。

平成29年度には医師・看護師を現場に派遣し医療を行いながら患者さまを病院に搬送する「ドクターカー」の導入が予定されています。市民の皆様様の生命を守るよう取り組んでいきたいと思ひます。



患者さまの急変に対応するための知識を学ぶ研修会



救急救命措置の講習会の様子

認定看護師とは、公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。  
※公益社団法人日本看護協会ホームページから引用 <http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/cn>

発行／大阪市立大学医学部附属病院

<http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/>

所在地：〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号

初診受付時間：午前9時～午前10時30分

電話：(06)6645-2121 (代表)

休診日：土・日・祝日、12月29日～1月3日